

地域医療のあり方検討プロジェクトチームの 調査報告及び今後の検討について

将来を見据えた市の地域医療提供体制のあり方やその中核となる市立市民病院の役割などについて検討するため、昨年7月に地域医療のあり方検討プロジェクトチームを設置し、調査・検討を行いました。

つきましては、プロジェクトチームの調査報告及び今後の検討について報告します。

1 地域医療のあり方検討プロジェクトチームの概要

(1) 主な検討事項

- ①市内全域における地域医療のあり方についての検証
- ②市民病院の現状把握や課題整理及び今後担うべき役割等の検討
- ③医療ニーズの把握、将来推計、市民病院の長期収支回収計画等の経営及び財政面における検討

(2) 構成員

福祉局保健部長をチームリーダーに、政策局・総務局・福祉局・消防局等の庁内関係部署から選定して構成（市民病院職員もオブザーバーとして参加）

2 活動概要

時期	内容
7月	・キックオフ会議開催 プロジェクトチーム活動にかかる共通認識 地域医療の動向及び市民病院の現状等について情報共有等 活動の方向性、スケジュール、役割分担等について意見交換
7～9月	・チーム員への意見聴取
10月	・市民病院現地視察 病院施設、設備の現状把握
11月	・コンサルタント業者による調査開始
12月～ (R6)3月	・調査に係る意見交換会（計8回） 明石市及び市民病院診療圏の地域医療について 市民病院の施設、設備、経営等について 調査分析結果とりまとめ
3月末～ 5月	・調査報告書のとりまとめ 市長へ報告

3 地域医療のあり方検討プロジェクトチーム調査結果

「明石市地域医療のあり方検討プロジェクトチーム調査報告書 概要版」(別紙1)、
「明石市地域医療のあり方検討プロジェクトチーム調査報告書」(別紙2)のとおり

4 今後の検討(今年度の予定)

時期	内容
令和6年 5月～	調査報告書を基に『地方独立行政法人 明石市立市民病院』と、課題等について協議 ※収支回収見込や施設保全、医師確保策等を含む経営計画、診療体制など、法人としてめざすべき具体的運営方針について協議、調整
10月～	外部有識者による「市民病院のあり方検討有識者会議(仮)」の開催 検討内容：地域における市民病院の役割や医療機能、あるべき姿等について 開催回数：4～5回程度 構成員：県、市医師会、関連大学など
令和6年度末	「市民病院のあり方検討有識者会議(仮)」の検討を踏まえた市民病院再整備の方向性の提示